

浄土真宗本弘寺婦人会だより

平成15年3月

第15号

つぼみの時もある
花開く時もある
実のなる時もある
枯れる時も来る
それぞれに深い味わいあり

梅の木を朝に晩に、春夏秋冬一年を通して見させていただく中に味わった言葉です。梅の命、梅の値打ちはどこにあるのでしょうか？花でしょうか？実にあるのでしょうか？私はそのときそのときをしっかりと生きるすべての姿に秋になって一枚一枚葉が散っていく中にも梅の命を感じるのです。

人生も無邪気な子供の頃もある。純粋な少年の時もあった。夢や希望に燃える青年の頃、バイタリティーに富んだ成人の時もあるし、すべてを達感し寂静な心境の老人になる時もある。内容的にも貧乏な時があれば、物質、経済に恵まれる時もある。健康な時があれば、病気で苦しむ時もある。悩み、苦しむ時があれば、喜びあふれ幸せいっぱいの時もある。友に裏切られる時があれば、守られる時もある。それが人生であろうし、そのときそのときを精一杯生かさせていただくと深い味わいを覚える。そこに自然とナンマンダブツとお念仏がこぼれ喜びが湧いてくる。

※夜もろくろく眠れずに赤児を育てているときは大変だと言うが、育ち上がってしまうと、子供を育てているときが一番良かったと言う。また、経済的に安定してしまうと、夫婦して苦しい中、頑張っているときが一番良かったと良く耳にする。

合掌 住職



お稚児さん募集

誰とでも仲良く、明るく、すこやかにのびのびと成長する仏の子として、開山五十周年法要の儀式に参列するお稚児さんを募集いたします。

対象年齢：3才～小学6年生

費用：7500円（衣裳代、お弁当、お土産等含む）

申し込み用紙は受付にございます。

是非ご参加くださいませ。

読者の広場

「生かされて」

滝井江子

何も楽しみがないから生きていてもつまらない！長年半身不随で寝ている友人がつぶやいた。動けなくなったときに2週間入院し、退院の時にはすでに寝たきりでオムツになっていた。簡易トイレに行くというので立たせたが立てず、支えながらの下着の上げ下ろしは大変だった。

それが3ヶ月後に会ったときには椅子に腰掛けていて、手すりにつかまりながら起きていったときには、精神力の強さに驚いた。

午前と午後にはヘルパーさんが来て食事の支度をしてくれる。近所の人も毎日のように来てくれる。でも、家族との会話が寂しいのかもしれない。

自分の体が思うように動かないと言うことは大変なことだと思います。自分がその立場になったときに同じように“生きていてもつまらない！”と思うかもしれない。

私は有り難いことに、自分の足で寺参りが出来る。仏法聴聞させていただく中に、そうした逆境に置かれてもどうか私は“生かされているのだ！”と感謝の気持ちで前向きに明るく生きていきたいと願っている今日この頃です。

合掌

元旦や阿弥陀さまと迎えたる
一日一生光の下で

正信偈むずかしきこと多かりき
一つの光明見だす喜び

矢部克子

